

工事名称 藤枝市家庭医療センタ - 機械設備改修工事
工事場所 藤枝市 南新屋 地内

設計年月日：令和 7年 4月 30日

< 工 事 概 要 >

建設工事名 藤枝市家庭医療センタ - 機械設備改修工事

建設工事箇所 藤枝市 南新屋 地内

工 期 令和 8 年 1 月 3 0 日まで

工 事 内 容 藤枝市家庭医療センター延べ床面積約460m²の機械設備改修工事

工 事 仕 様 特記仕様書による

工事内訳明細書に記載されている数量は参考数量である

本工事は月単位の週休 2 日推進工事【発注者指定型】である

別紙 1 の藤枝市週休 2 日推進工事（建築工事）特記仕様書を参照すること

(工事価格 _____)

(_____)

(_____)

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
機械設備改修工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

工事種別内訳

[illegible]

機械設備改修工事 種目別内訳

[illegible]

機械設備改修工事 科目別内訳

[illegible]

機械設備改修工事 科目別内訳

[illegible]

機械設備改修工事 細目別内訳

機械設備改修		空気調和設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
空冷ヒートポンプユニット -ジ アイコン PAC-1	天井機4方向吹出形 冷房能力 12.5Kw 暖房能力 14.0Kw RCV-ス基礎共	1	組			
空冷ヒートポンプユニット -ジ アイコン PAC-2	天井機4方向吹出形 冷房能力 10.0Kw 暖房能力 11.2Kw 設置架台共	1	組			
空冷ヒートポンプユニット -ジ アイコン PAC-3	天井機4方向吹出形 冷房能力 7.1Kw 暖房能力 8.0Kw 風向調整板,設置架台共	1	組			
空冷ヒートポンプユニット -ジ アイコン PAC-4	天井機4方向吹出形 冷房能力 7.1Kw 暖房能力 8.0Kw 設置架台共	1	組			
空冷ヒートポンプユニット -ジ アイコン PAC-5	天井機4方向吹出形 冷房能力 4.0Kw 暖房能力 4.5Kw RCV-ス基礎共	1	組			
空冷ヒートポンプユニット -ジ アイコン PAC-6	天井機4方向吹出形 冷房能力 3.6Kw 暖房能力 4.0Kw RCV-ス基礎共	1	組			
空冷ヒートポンプユニット -ジ アイコン PAC-7	天井機2方向吹出形 冷房能力 5.6Kw 暖房能力 6.3Kw RCV-ス基礎共	1	組			
空冷ヒートポンプユニット -ジ アイコン PAC-8	天井機2方向吹出形 冷房能力 4.5Kw 暖房能力 5.0Kw RCV-ス基礎共	1	組			
ルームエアコン RAC-1	壁掛形 冷房能力 4.0Kw 暖房能力 5.0Kw ドレンアップ 共,RCV-ス基礎共	1	組			
ルームエアコン RAC-2	壁掛形 冷房能力 3.6Kw 暖房能力 4.2Kw RCV-ス基礎共	1	組			
ルームエアコン RAC-3	壁掛形 冷房能力 3.6Kw 暖房能力 4.2Kw RCV-ス基礎共	1	組			
ルームエアコン RAC-4	壁掛形 冷房能力 3.6Kw 暖房能力 4.2Kw ドレンアップ 共,RCV-ス基礎共	1	組			
ルームエアコン RAC-5	壁掛形 冷房能力 3.6Kw 暖房能力 4.2Kw ドレンアップ 共,RCV-ス基礎共	1	組			
ルームエアコン RAC-6	壁掛形 冷房能力 3.6Kw 暖房能力 4.2Kw ドレンアップ 共,風向調整板,RCV-ス基礎共	1	組			
ルームエアコン RAC-7	壁掛形 冷房能力 3.6Kw 暖房能力 4.2Kw ドレンアップ 共,RCV-ス基礎共	1	組			
ルームエアコン RAC-8	壁掛形 冷房能力 2.8Kw 暖房能力 3.6Kw 壁面設置架台共	1	組			
ルームエアコン RAC-9	壁掛形 冷房能力 2.5Kw 暖房能力 2.8Kw ドレンアップ 共,RCV-ス基礎共	1	組			
ルームエアコン RAC-10	壁掛形 冷房能力 2.5Kw 暖房能力 2.8Kw ドレンアップ 共,RCV-ス基礎共	1	組			
ルームエアコン RAC-11	壁掛形 冷房能力 2.5Kw 暖房能力 2.8Kw ドレンアップ 共,RCV-ス基礎共	1	組			

機械設備改修工事 細目別内訳

機械設備改修						
空気調和設備						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ル-ムエアコン RAC-12	壁掛形 冷房能力 2.5Kw 暖房能力 2.8Kw ドレンアップ 効、RC管-ス基礎共	1	組			
ル-ムエアコン RAC-13	壁掛形 冷房能力 2.5Kw 暖房能力 2.8Kw RC管-ス基礎共	1	組			
ル-ムエアコン RAC-14	天井施設1方向吹出形 冷房能力 6.3Kw 暖房能力 7.1Kw 壁面設置架台共	1	組			
ル-ムエアコン RAC-15	天井施設1方向吹出形 冷房能力 6.3Kw 暖房能力 7.1Kw 壁面設置架台共	1	組			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	15.88外径(5/8B) ガス管 厚20mm以上	80	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	12.7 外径(1/2B) ガス管 厚20mm以上	61	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	9.52外径(3/8B) ガス管 厚20mm以上	141	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	9.52外径(3/8B) 液管 厚10mm以上	80	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	6.35外径(1/4B) 液管 厚10mm以上	202	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	屋内一般 40A	5	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	屋内一般 30A	36	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	屋内一般 25A	96	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	屋外架空・暗渠 40A	3	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	屋外架空・暗渠 30A	106	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	屋外架空・暗渠 25A	22	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管用 保温外装	ステンレス鋼板 外装径100～150mm程度	75	m			
保温化粧ケース (樹脂製)	75 × 63	5	m			
排水管 保温	グラスウール 天井内、パイプシャフト内 アルミガラス化粧筒 40A	5	m			
排水管 保温	グラスウール 天井内、パイプシャフト内 アルミガラス化粧筒 32A	36	m			
排水管 保温	グラスウール 天井内、パイプシャフト内 アルミガラス化粧筒 25A	96	m			

機械設備改修工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備改修工事 細目別内訳

機械設備改修		換気設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
天井換気扇 VF-1	天井換気扇 150 x 260m ³ /h x 110Pa	1	台			
天井換気扇 VF-2	天井換気扇 150 x 200m ³ /h x 55Pa	1	台			
天井換気扇 VF-3	天井換気扇 100 x 160m ³ /h x 60Pa	6	台			
天井換気扇 VF-4	天井換気扇 100 x 120m ³ /h x 60Pa	2	台			
天井換気扇 VF-5	天井換気扇 100 x 90m ³ /h x 50Pa	3	台			
天井換気扇 VF-6	天井換気扇 100 x 60m ³ /h x 45Pa	2	台			
ﾊﾞｲﾌﾟﾌｧﾝ PF-1	ﾊﾞｲﾌﾟﾌｧﾝ 100 x 70m ³ /h x 6Pa	1	台			
中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ EF-1	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ 150 x 360m ³ /h x 130Pa	2	台			
中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ EF-2	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ 150 x 210m ³ /h x 120Pa	1	台			
壁換気扇 EF-3	壁換気扇 20cm x 450m ³ /h x 15Pa ｳｪｰｼﾞ-ｶﾊﾞｰ共	1	組			
中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ OF-1	中間ﾀﾞｸﾄﾌｧﾝ 150 x 120m ³ /h x 130Pa	2	台			
ｴﾋﾞｰ-ｶﾑﾌｧﾝ吹出口	VHS 250 250	5	個			
ｴﾋﾞｰ-ｶﾑﾌｧﾝ吹出口	VHS 200 200	7	個			
ｴﾋﾞｰ-ｶﾑﾌｧﾝ吹出口	VHS 150 150	13	個			
ｽﾘｯﾄ形吸込口	HS 200 200	2	個			
ｽﾘｯﾄ形吸込口	HS 150 150	11	個			
ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ	ｽﾃﾝﾚｽ製 150	3	個			
ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ	ｽﾃﾝﾚｽ製 100	17	個			
ｽﾊﾟｲﾚﾙﾀﾞｸﾄ (低圧ﾀﾞｸﾄ)	ｲﾝｻｰﾄ有 150mm	120	m			
ｽﾊﾟｲﾚﾙﾀﾞｸﾄ (低圧ﾀﾞｸﾄ)	ｲﾝｻｰﾄ有 100mm	137	m			

[illegible]

機械設備改修工事 細目別内訳

機械設備改修		衛生器具設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
洋風便器	図示	3	組			
紙巻器	図示	3	個			
小便器	図示	1	組			
多機能トイレパック	図示	1	組			
汚物流し	図示	1	組			
洗面器	図示	5	組			
ホウリー体加ソー	図示	1	組			
マルチソク	図示	2	組			
ペーパーシート	図示	2	組			
混合水栓	図示	4	個			
混合水栓	図示	3	個			
化粧鏡	図示	5	枚			
洗濯機バス	図示	1	枚			
洗濯機用水栓	図示	1	個			
法定福利費	上記細目に含む					
計						

機械設備改修工事 細目別内訳

機械設備改修 給水設備						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【屋外給水設備】						
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VD)改修	ねじ接合 地中配管 50A	28	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VD)改修	ねじ接合 地中配管 32A	1	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VD)改修	ねじ接合 地中配管 25A	1	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)改修	ねじ接合 屋外架空・暗渠 32A	2	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)改修	ねじ接合 屋外架空・暗渠 25A	2	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)改修	ねじ接合 屋外架空・暗渠 20A	2	m			
仕切弁 (管端防食工)	10K(ねじ・給水用) 32A	1	個			
仕切弁 (管端防食工)	10K(ねじ・給水用) 25A	1	個			
弁柵	機 械 VC-P (550H)	2	組			
給水管 保温	ボリスフレソ 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 32A	2	m			
給水管 保温	ボリスフレソ 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 25A	2	m			
給水管 保温	ボリスフレソ 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 20A	2	m			
配管切断・接続費		1	式			別紙 00-0004
土工事		1	式			別紙 00-0005
小計						
【屋内給水設備】						
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)改修	ねじ接合 機械室・便所 32A	1	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)改修	ねじ接合 機械室・便所 25A	9	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)改修	ねじ接合 機械室・便所 20A	41	m			

[illegible]

機械設備改修工事 細目別内訳

機械設備改修						
排水設備						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【屋外排水設備】						
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	地中配管 150A	28	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	地中配管 125A	1	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	地中配管 100A	6	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	地中配管 75A	2	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	地中配管 65A	2	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	地中配管 50A	4	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	屋外架空・暗渠 100A	3	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	屋外架空・暗渠 65A	2	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	屋外架空・暗渠 50A	3	m			
プラスチック樹(鋳鉄製防護ふた)	樹径150 最大排水管径100 90Y、45Y、45YS 501～800 T- 8 蝶番ロック式	1	組			
プラスチック樹(鋳鉄製防護ふた)	樹径200 最大排水管径150 90Y、45Y、45YS 501～800 T- 8 蝶番ロック式	1	組			
プラスチック樹(鋳鉄製防護ふた)	樹径200 最大排水管径150 90Y、45Y、45YS 801～1200 T- 8 蝶番ロック式	5	組			
プラスチック樹(鋳鉄製防護ふた)	樹径200 最大排水管径150 90L、45L 501～800 T- 8 蝶番ロック式	1	組			
プラスチック樹(鋳鉄製防護ふた)	樹径200 最大排水管径150 90L、45L 801～1200 T- 8 蝶番ロック式	2	組			
配管切断・接続費		1	式			別紙 00-0008
土工事		1	式			別紙 00-0009
小計						
【屋内排水設備】						
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 100A	4	m			

機械設備改修工事 細目別内訳

機械設備改修		排水設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 75A	3	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 65A	1	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 50A	6	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 40A	2	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 50A	1	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 40A	3	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管(VP)改修	機械室・便所 100A	11	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管(VP)改修	機械室・便所 75A	11	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管(VP)改修	機械室・便所 65A	14	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管(VP)改修	機械室・便所 50A	6	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管(VP)改修	機械室・便所 40A	10	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管(VP)改修	機械室・便所 75A	3	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管(VP)改修	機械室・便所 65A	3	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管(VP)改修	機械室・便所 50A	9	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管(VP)改修	機械室・便所 40A	4	m			
床上掃除口(非防水形 塩ビ管用)	COA 100A	3	個			
床上掃除口(非防水形 塩ビ管用)	COA 80A	1	個			
床上掃除口(非防水形 塩ビ管用)	COA 65A	2	個			
床上掃除口(非防水形 塩ビ管用)	COA 50A	1	個			
排水通気金物	アルミ製 露出型 80A	1	個			

機械設備改修工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備改修工事 細目別内訳

機械設備改修		給湯・ガス設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【給湯設備】						
電気温水器 EH-1	据置形 12L(飲料・洗い物用) AC100V 1.1kW 附属品共	1	台			
ガス給湯器 GH-1	屋外壁掛設置形(潜熱回収型) 50号 附属品一式	1	台			
ガス給湯器 GH-2	屋外壁掛設置形(潜熱回収型) 20号 附属品一式	1	台			
給湯・耐熱性硬質塩ビライニング鋼管(管端防食)改修	ねじ接合 屋外架空・暗渠 25A	4	m			
給湯・耐熱性硬質塩ビライニング鋼管(管端防食)改修	ねじ接合 屋外架空・暗渠 20A	7	m			
給湯・耐熱性硬質塩ビライニング鋼管(管端防食)改修	ねじ接合 屋内一般 25A	9	m			
給湯・耐熱性硬質塩ビライニング鋼管(管端防食)改修	ねじ接合 屋内一般 20A	43	m			
給湯管 保温	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラス化粧筒 25A	9	m			
給湯管 保温	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラス化粧筒 20A	34	m			
給湯管 保温	グラスウール 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 25A	4	m			
給湯管 保温	グラスウール 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 20A	7	m			
給湯管 保温	グラスウール 屋内露出 ステンレス鋼板 20A	9	m			
穴あけ補修費		1	式			別紙 00-0012
小計						
【ガス設備】						
ホリゾン被覆鋼管(PLP・PLS) 改修	屋外架空・暗渠 20A	2	m			
配管切断・接続費		1	式			別紙 00-0013
小計						

機械設備改修工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備改修工事 細目別内訳

とりこわし 撤去工事						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【空調設備】						
空冷ヒートポンプユニット -ジ アイコン PAC-a	天井隠蔽 冷房能力 6.3相当 暖房能力 7.1相当	2	組			
空冷ヒートポンプユニット -ジ アイコン PAC-b	天井カセット形 4方向吹出形 冷房能力 14.0相当 暖房能力 16.0相当	2	組			
空冷ヒートポンプユニット -ジ アイコン PAC-c	天井カセット形 4方向吹出形 冷房能力 5.0相当 暖房能力 5.6相当	2	組			
空冷ヒートポンプユニット -ジ アイコン PAC-d	天井カセット形 4方向吹出形 冷房能力 7.1相当 暖房能力 8.0相当	2	組			
空冷ヒートポンプユニット -ジ アイコン PAC-e	床置形 冷房能力 10.0相当 暖房能力 11.2相当	2	組			
空冷ヒートポンプユニット -ジ アイコン PAC-f	床置形 冷房能力 10.0相当 暖房能力 11.2相当	2	組			
ファンコイルユニット FC-1	天吊形 冷房能力 5.6相当 暖房能力 7.0相当	1	台			
冷媒・被覆銅管撤去	15.88外径 (5/8B)	58	m			
冷媒・被覆銅管撤去	9.52 外径 (3/8B)	58	m			
【換気設備】						
天井換気扇 VF-a	天井換気扇 150	11	台			
天井換気扇 VF-b	天井換気扇 100	6	台			
壁換気扇 EF-a	壁換気扇 20cm ウレザ -加 -共	1	組			
壁換気扇 EF-b	壁換気扇 20cm ウレザ -加 -共	1	組			
【衛生器具設備】						
和風便器撤去	タケ式 再使用しない	1	組			
小便器撤去	洗浄弁式床置小便器 再使用しない	1	組			
手洗器撤去	再使用しない	4	組			
洗面器撤去	水栓1個、水栓2個 再使用しない	3	組			

機械設備改修工事 細目別内訳

とりこわし 撤去工事						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
洗面化粧台撤去	再使用しない	1	組			
混合栓撤去	13A	4	個			
自在水栓撤去	13A	5	個			
【給水設備】						
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)撤去	ねじ接合 屋外架空・暗渠 20A	3	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)撤去	ねじ接合 機械室・便所 40A	1	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)撤去	ねじ接合 機械室・便所 32A	4	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)撤去	ねじ接合 機械室・便所 20A	9	m			
給水管 保温撤去	ポリスチレン 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 20A 再使用しない	2	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラス化粧筒 40A 再使用しない	1	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラス化粧筒 32A 再使用しない	4	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラス化粧筒 20A 再使用しない	9	m			
給水管フタ止	20A	6	か所			
【排水設備】						
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管 (VP)改修	機械室・便所 100A	3	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管 (VP)改修	機械室・便所 75A	2	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管 (VP)改修	機械室・便所 65A	6	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管 (VP)改修	機械室・便所 50A	2	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管 (VP)改修	機械室・便所 40A	4	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管 (VP)改修	機械室・便所 50A	2	m			

機械設備改修工事 細目別内訳

とりこわし 撤去工事						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管 (VP)改修	機械室・便所 40A	3	m			
排水管キャップ止	75A	1	か所			
排水管キャップ止	50A	3	か所			
排水管キャップ止	40A	2	か所			
【給湯設備】						
ガス給湯器 撤去 GH-a	屋外壁掛形 20号相当	1	台			
ガス給湯器 撤去 GH-b	屋外据置形 20号相当	1	台			
ガス給湯器 撤去 GH-c	屋内壁掛形 5号相当	1	台			
給湯管フラグ止	20A	4	か所			
【ガス設備】						
ガス・配管用 炭素鋼鋼管(白)撤去	ねじ接合 屋外架空・暗渠 20A	2	m			
ガス管フラグ止	20A	1	か所			
法定福利費	上記細目に含む					
計						

[illegible]

機械設備改修工事 別紙明細

機械設備改修		空気調和設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
穴あけ補修費		1	式			別紙 00-0001
機械はつり(ダクト ノット・カッターによる 配管用貫通口)	100～150mm 75mm	33	か所			
鉄筋探査費用(基本 料金)	電磁波レーダー方式	1	式			
鉄筋探査費用(箇所 あたり調査費用)	電磁波レーダー方式	33	か所			
計						
計装配線工事		1	式			別紙 00-0002
600Vホリゾンタル絶縁 耐燃性ホリゾンタルス ケール平形 EM-EEF	2.0mm- 3C 冷媒共巻き	282	m			
EM-CEEケーブル	2mm2- 2C ビット・天井	46	m			
EM-CEEケーブル	2mm2- 2C 管内	33	m			
1種金属線ぴ(MM1)	A型(25.4mm)	30	m			
金属製 露出スイッチボックス	25(22) 1個用1方出	10	個			
計						

機械設備改修工事 別紙明細

[illegible]

機械設備改修工事 別紙明細

機械設備改修		給水設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管切断・接続費		1	式			別紙 00-0004
配管切断・接続 (鋼管類)	配管切断・接続 50A 保温無	2	か所			
配管切断・接続 (鋼管類)	配管切断・接続 20A 保温有	2	か所			
計						
土工事		1	式			別紙 00-0005
根切り(機械)	ハッパ約 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加圧型	7.4	m3			
山砂		2.7	m3			
埋戻し	機 械 ハッパ約 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加圧型	4.7	m3			
建設発生土処理	人 力 構内敷ならし	2.7	m3			
計						
配管分岐、配管切 断・接続費		1	式			別紙 00-0006
配管分岐 (鋼管類)	配管分岐 20A 保温有	2	か所			
配管切断・接続 (鋼管類)	配管切断・接続 25A 保温有	1	か所			
配管切断・接続 (鋼管類)	配管切断・接続 20A 保温有	11	か所			
計						

機械設備改修工事 別紙明細

[illegible]

機械設備改修工事 別紙明細

機械設備改修 排水設備						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管切断・接続費		1	式			別紙 00-0008
配管切断・接続 (樹脂管類)	配管切断・接続 150A 保温無	2	か所			
配管切断・接続 (樹脂管類)	配管切断・接続 125A 保温無	1	か所			
配管切断・接続 (樹脂管類)	配管切断・接続 100A 保温無	2	か所			
計						
土工事		1	式			別紙 00-0009
根切り(機械)	バ ッ クホ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加圧型	17.4	m3			
山砂		3.9	m3			
埋戻し	機 械 バ ッ クホ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加圧型	13.6	m3			
建設発生土処理	人 力 構内敷ならし	3.9	m3			
計						
配管切断・接続費		1	式			別紙 00-0010
配管切断・接続 (樹脂管類)	配管切断・接続 100A 保温無	1	か所			
配管切断・接続 (樹脂管類)	配管切断・接続 75A 保温無	1	か所			
配管切断・接続 (樹脂管類)	配管切断・接続 65A 保温無	1	か所			
配管切断・接続 (樹脂管類)	配管切断・接続 50A 保温無	5	か所			
配管切断・接続 (樹脂管類)	配管切断・接続 40A 保温無	5	か所			
計						

機械設備改修工事 別紙明細

機械設備改修		排水設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
穴あけ補修費		1	式			別紙 00-0011
機械はつり(ダ イモ ンド カッターによる 配管用貫通口)	100～150mm 150mm	2	か所			
機械はつり(ダ イモ ンド カッターによる 配管用貫通口)	100～150mm 125mm	1	か所			
機械はつり(ダ イモ ンド カッターによる 配管用貫通口)	100～150mm 100mm	2	か所			
鉄筋探査費用(基 本料金)	電磁波レーダ方式	1	式			
鉄筋探査費用(箇 所あたり調査費用)	電磁波レーダ方式	5	か所			
機械はつり(ダ イモ ンド カッターによる 配管用貫通口)	100～150mm 150mm	2	か所			
機械はつり(ダ イモ ンド カッターによる 配管用貫通口)	100～150mm 125mm	3	か所			
機械はつり(ダ イモ ンド カッターによる 配管用貫通口)	100～150mm 100mm	3	か所			
機械はつり(ダ イモ ンド カッターによる 配管用貫通口)	100～150mm 75mm	4	か所			
鉄筋探査費用(基 本料金)	X線方式	1	式/日			
鉄筋探査費用(箇 所あたり調査費用 20か所/日まで)	X線方式	12	か所			
計						

機械設備改修工事 別紙明細

機械設備改修		給湯・ガス設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
穴あけ補修費		1	式			別紙 00-0012
機械はつり(パイプ バンド・カッターによる 配管用貫通口)	100～150mm 50mm	2	か所			
鉄筋探査費用(基本 料金)	電磁波レーダー方式	1	式			
鉄筋探査費用(箇所 あたり調査費用)	電磁波レーダー方式	2	か所			
計						
配管切断・接続費		1	式			別紙 00-0013
配管切断・接続 (銅管類)	配管切断・接続 20A 保温無	2	か所			
計						

[illegible]

藤枝市 週休 2 日推進工事（建築工事）特記仕様書 [発注者指定型]

1 発注方式

本工事は、発注者が月単位の週休 2 日に取り組むことを指定する週休 2 日推進工事（発注者指定型）である。なお、月単位の週休 2 日に取り組むことを必須とする。

2 週休 2 日の考え方

- (1) 「月単位の週休 2 日」とは、対象期間において、全ての月で 4 週 8 休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。
- (2) 「通期の週休 2 日」とは、対象期間において、4 週 8 休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。
- (3) 「対象期間」とは、工期のうち、準備期間と後片付け期間を除く期間をいう。なお、年末年始休暇 6 日間、夏季休暇 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは含まない。
- (4) 「現場閉所」とは、巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場が閉所された状態をいう。
- (5) 「現場休息」とは、分離発注工事（一つの工事現場で概ね同期間に施工される関連工事がある工事。以下同じ。）の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場作業が無い状態をいう。
- (6) 「4 週 8 休以上」とは、以下のとおりとする。
 - ア 月単位の週休 2 日においては、対象期間内の全ての月ごとに現場閉所（現場休息）日数割合（以下「現場閉所（現場休息）率」という。）が 28.5%（8 日 / 28 日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が 28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所（現場休息）を行っている状態をいう。
 - イ 通期の週休 2 日においては、対象期間内の現場閉所（現場休息）率が 28.5%（8 日 / 28 日）以上の水準に達する状態をいう。
 - ウ 現場休息率の算出において、現場休息の日数には現場閉所の日数を含む。
 - エ 降雨、降雪等による予定外の現場閉所（現場休息）日についても、現場閉所（現場休息）日数に含めるものとする。

3 実施方法

- (1) 対象期間開始前
対象期間を受発注者間協議により設定する。

受注者は、「現場閉所（現場休息）予定日」を記載した実施工程表等を作成し、監督員の確認を得た上で週休２日に取り組むものとする。

分離発注工事の場合は、受注者間で協力し、工事の進捗に影響が出ないように「現場閉所（現場休息）予定日」を調整した上で、実施工程表等を作成する。

(2) 対象期間中

受注者は、監督員が現場閉所（現場休息）の状況（実績）を確認するために、実施工程表等に「現場閉所（現場休息）日」を記載し、必要な都度、監督員に提出するものとする。

工程計画の見直し等が生じた場合には、その都度実施工程表等を提出する。

(3) 現場閉所（現場休息）率の確認時

監督員は、受注者が作成する「現場閉所（現場休息）日」が記載された実施工程表等により対象期間内の現場閉所（現場休息）率を算出し、現場閉所（現場休息）率確認書を作成し、受注者に交付する。

4 工事間調整

受注者は監督員、関連工事受注者その他関係者と協力し、一つの工事現場において、設備工事、内装工事等の後工程の適正な施工期間を考慮して、全体の工程に遅延が生じないように、各工事間の調整を適切に実施する。

5 実施困難な場合の対応

受注者の責めに帰すことができない理由により実施が困難な場合は、対象期間開始前に受発注者間協議を行うこととする。

6 費用の計上

予定価格は、月単位の週休２日を前提に以下の(1)の補正係数により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費。以下同じ。）を補正し作成している。

発注者は、現場閉所（現場休息）の達成状況を確認し、月単位の週休２日を満たさない場合は、以下の(2)の補正係数に変更し、通期の週休２日に満たない場合は補正係数を除き、請負代金額のうち労務費補正分の差額を減額変更する。

(1) 月単位の週休２日 補正係数 1.04

(2) 通期の週休２日 補正係数 1.02

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び 合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

(受注者の責務)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市立総合病院における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」（平成 28 年 3 月 24 日藤枝市立総合病院事業管理者決定）第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。

個人情報取扱特記仕様書

1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。

なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。